

新年のごあいさつ

盛岡間税会 会長 田村 清記



令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆さまには、日頃より盛岡間税会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、盛岡税務署長様をはじめ税務当局の皆さまにも、平素よりご指導ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

盛岡間税会は、間接税に関する正しい理解と知識の普及、会員相互の情報交換および研鑽を通じて、地域社会に貢献することを目的として活動しております。本年もその理念のもと、税務研修や地域貢献活動など、さまざまな取り組みを積極的に推進してまいります。今年の干支は丙午（ひのえうま）です。馬の年は、前向きな活力や挑戦する姿勢を象徴するといわれます。私たち盛岡間税会も、会員の皆さまとともに、税務の正しい理解の促進と地域への貢献に一層努めてまいります。

昨年は、大船渡市での山林火災や県内各地でのクマの出没など、自然の脅威と向き合う現実を改めて突きつけられる出来事がありました。被災された地域の皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と安全な生活の回復をお祈り申し上げます。

当会の活動としては、女性部会・青年部会による地域の子どもたちへの「租税教室」の開催や、一昨年から継続している「税の標語募集」を実施いたしました。飯岡小学校の児童による入選作品の表彰式には全校生徒が参加し、子どもたちの税への関心の高さに深く感動いたしました。体育館いっぱいに集まった児童が盛岡税務署長のお話真剣に耳を傾け、受賞者へ温かな拍手を送る姿は大変印象的で、税を身近に感じてもらう貴重な機会となりました。未来を担う世代への大きな希望を強く感じた次第です。さらに、「税を考える週間特別講演会」では、多くの会員の皆さまにご参加いただき、税の知識を深める有意義な機会となりました。本年も、会員一人ひとりが学びの場として積極的に参加し、税務への理解をより一層深めていきたいと考えております。

また昨年は、会員の親睦を深めるため、会員懇親会やゴルフコンペも開催し、和やかな交流の場が多く笑顔を生み出しました。こうした親睦活動は、会の活力を高める



だけでなく、新たな会員増強にもつながる重要な取り組みです。本年も、間接税に関する正しい理解の促進、会員相互の親睦、税知識の普及・推進に力を注ぎ、より楽しく有意義な盛岡間税会を築いてまいります。

結びに、本年が会員の皆さまの事業のさらなる発展と、地域社会の安心と希望につながる一年となり、また会員の輪が一層広がる年となりますことを心より祈念申し上げます。会員の皆さまならびにご家族のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

盛岡間税会 通常総会

令和7年5月21日にホテルロイヤル盛岡にて、盛岡税務署三澤成人署長、藤元千明副署長、伊藤勝行統括国税調査官、東北税理士会盛岡支部菊地康弘支部長、盛岡法人会佐藤重昭副会長、ジブラルタ生命保険盛岡支社盛岡第一営業所柳村一彦所長ご臨席のもと開催いたしました。総会終了後、三澤成人署長よりテーマ～「こんな間税会がある！」と題して、西新井税務署管轄の税団協の活動などについて、興味深いお話を伺いました。

税を考える週間

令和7年11月11日(火)～17日(月)

特別講演会 11月19日水曜日開催

(主催：盛岡地区税団協－間税会など7団体で構成)

【講師】

仙台国税局長 …………… 谷口 眞司氏

「最近の財政と税務行政について」

大阪大学特任教授 …………… 藪中三十二氏

「緊迫する国際情勢と日本外交」

特別講演会は、メトロポリタン盛岡ニューウイングにて開催され、会員・税務関係者・一般市民229名が、二講座を聴講しました。

あたたかい 社会を作る 消費税

令和7年度「税の標語」
最優秀作品



新年のごあいさつ

盛岡税務署 署長 齋 清貴様

令和8年の年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

盛岡間税会の皆様には、平素から税務行政に対しまして、深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会におかれましては、「消費税の啓発活動等の拡充」策として、児童・生徒に対する租税教室へ講師を派遣していただくとともに、「世界の消費税162カ国」のクリアファイルを広く配布するなど、租税教育の充実に尽力されているほか、消費税をはじめとする税知識の普及と納税道義の高揚を図るため、各種事業を積極的に推進されております。

特に昨年は、「税の標語」の募集活動において、数多くの方が手軽に応募できるよう、リーフレット及び新聞記事に募集webサイトに繋がるQRコードを新たに掲載することにより、一昨年を大きく上回る応募がありました。飯岡小学校での表彰式では、全校生徒の前で、受賞者に対し表彰状の贈呈及び挨拶する機会をいただきましたが、一点の曇りもなく、真っすぐにこちらを見つめる子供たちを前にした時、私自身、心が洗われる思いでした。子供たちに税を身近に感じてもらうためのこれらの取組は、貴会の素晴らしい企画力と実行力の賜物であり、役員の皆様を中心に、熱心に募集活動に取り組まれた成果であると考えております。

私ども盛岡税務署といたしましても、「税の標語」の募集活動のほか、研修会等への講師派遣など、間税会の活動に対し、今後とも積極的に支援をさせていただきます。これまで以上に皆様との連携・協調を図ってまいります。

これから確定申告の時期を迎えますが、国税庁では「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」の実現



盛岡間税会会報
MORIOKA KANZEIKAI

vol.36

令和8年1月15日発行

〈盛岡間税会事務局〉—— 株式会社平金商店内
盛岡市肴町8番24号
TEL 090-3122-7255 FAX 019-624-7431



間税会公認キャラクター

に向けて、自宅等からのe-Tax申告及びキャッシュレス納付等の税務関係手続の電子化の推進に取り組んでおります。

特に、マイナンバーカードを利用したe-Tax申告は、スマホやパソコンで自宅等からでも申告することができるほか、マイナポータル連携を利用した各種控除証明書や給与情報の自動入力も可能となるなど、よりスマートに確定申告できるツールとなっておりますので、積極的なご利用をお願いいたします。

また、キャッシュレス納付については、特に毎月の源泉所得税が発生する納税者の皆様に対して、金融機関等の窓口へ毎月出向く事務負担の軽減等の観点から、ダイレクト納付を強くお勧めしているところであり、是非ともこの機会にご利用をご検討いただければ幸いです。

最後になりますが、新しい「午年」が、皆様にとって益々の飛躍の年でありますよう心から祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。



●研修旅行 7月23日水曜日(女性部会13名参加)

5年ぶりに盛岡間税会女性部会は研修旅行を開催いたしました。岩泉ホールディングスの工場見学、田野畑村のロレオールで昼食、その後田野畑山地酪農見学と丸一日岩手の酪農を学ぶ旅を満喫してまいりました。

岩泉乳業様は皆さまご存じの通りヨーグルトが有名です。添加物を一切加えず低温長時間発酵で仕上げたヨーグルトは、弾力がありもっちりとしたヨーグルトに仕上がります。今では珍しいアルミパウチ入ヨーグルトですが、岩泉乳業様が全国の先駆けとなっております。他にイタリア仕込みのチーズ職人によるチーズや岩泉龍泉洞に沸くミネラル天然水から生まれた龍泉洞のスキンケアシリーズも大人気な商品の一つです。

田野畑村ロレオールは、2012年にアイアンシェフに出演され見事勝利をもたらした伊藤シェフのお店です。海を眺めながら地元の食材にこだわり素材の味を引き出す目でも楽しめる美しいお料理でした。

最後に山地酪農見学。広大な牧山に放牧された乳牛が四季を通してニホンシバを中心に野草と湧水を求め歩く。そんな牛たちは自然に最も近い環境の中で生活しストレスを感じることなくのんびりと暮らしているようです。乳牛は本来の平均寿命は5.6年といわれているようですが山地酪農の牛たちは倍の10年から12年ほどと長生きするそうです。すごい！

山地酪農で作られた牛乳やチーズをいただきましたが



とにかくその濃厚さに驚きました。多くの野草を食べている牛たちは一頭当たり牛から出される牛乳は少量なようですが、10年を超えても乳牛として活躍できるそうです。広大な敷地でまじめにモノづくりに向き合ってきた岩手の方々の研鑽の賜物だなど、今回現場で見聞きし、なんだか誇らしくも思えました。

感謝していただくのももちろんですが、全国の人達にも知ってもらいたいとの想いを強くし、たくさんお土産を買って実りある研修を終えました。

(女性部会：熊谷 彩 副部会長)

令和7年度“大人の遠足”～岩手の酪農を学ぶ旅～

☆岩泉ホールディングス

- 岩泉ヨーグルト：アルミパウチ 17周年
- 牛乳・乳製品、ジェラート・チーズ
- 飲料水：龍泉洞の水、龍泉洞の炭酸水
- スキンケア・オーラルケアシリーズ
- いわいずみ短角牛：夏山冬里方式で生まれた

☆ロレオール田野畑／伊藤勝康シェフ（千葉県出身）

- 岩手は食財の宝庫、地域の食文化発展をめざす
- 大地に恵まれた山の幸、豊富な魚種・品質ともに世界に誇れる三陸の海の幸
- 農林水産省の「料理マスターズ」受賞
- テレビ「アイアンシェフ」に出演・勝利

☆田野畑山地酪農牛乳／吉塚公雄会長（千葉県出身）

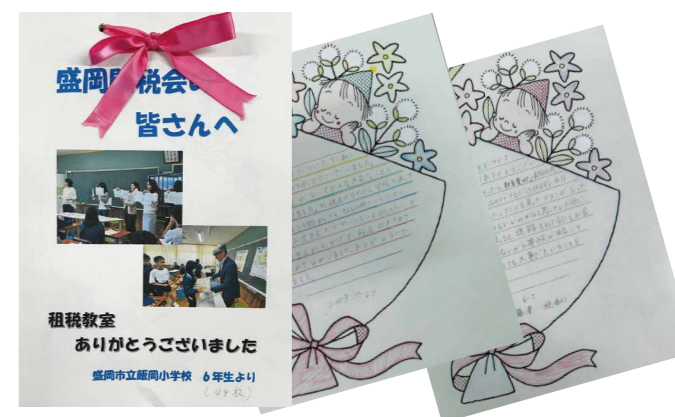
- 東京農業大学で山地酪農の理論に出会う
- 日本の自然と共生する酪農の可能性を感じた
- 1996年発足、74年大学卒業後田野畑村に移住
- 大宇宙、大自然の力を生かし切る風土に根ざす酪農体系
- 飼料をほとんど外から購入しない循環型の酪農

(上記記載情報は、ChatGPTにより収集：事務局 平野佳則)

●令和7年度 租税教室

今年度下記の3校にて開催、女性部会と青年部会が協力して租税教育を実施した。飯岡小学校の6年生児童から心温まる感想文を沢山いただき、頂いた感想文を租税教室に携わっているスタッフで共有したところ、皆さんから感動したなど喜びの声が多数寄せられた。

- ① 5月21日(水)10:25～11:10 永井小学校(6年56名)
- ② 6月2日(月)10:45～11:30 飯岡小学校(6年28名)
- ③ 6月2日(月)11:40～12:25 飯岡小学校(6年29名)
- ④ 7月2日(水) 9:30～10:15 手代森小学校(6年22名)



●「税の標語」募集活動

第2回目「税の標語」募集活動は、103点(小学生5校65作品、中学生2校3作品、一般35作品)の作品が応募され、審査会で5点の入選作品を選び全開連に進達した。租税教室を実施した飯岡小学校からは6年生児童25名より応募があり2作品が入選、学年主任の菅原美里先生による外部講師と一体的な教育推進活動により多数の応募・入選に繋がった。

11月17日月曜日に表彰を行い、飯岡小学校の体育館にて全校児童の見守る中、盛岡税務署長賞は齋清貴署長より、盛岡間税会女性部会長賞を田村清記会長より賞状および副賞を授与した。飯岡小学校の後、上田中学校にて盛岡間税会長賞、盛岡市肴町に於いて、一般から入選した盛岡間税会最優秀賞および青年部会長賞を田村清記会長より授与した。

税の標語 大ぼしゅう!

テーマは税に関するものやPRになるもので、形式・内容はなんでもOK!
俳句や5・7・5調にこだわることなく、自由に表現してみよう!

令和7年度 盛岡間税会 「税の標語」入選作品

最優秀賞	<p>知ろう 話そう 税のこと 一般：佐々木 ゆり子さん</p>
盛岡間税会 会長賞	<p>税の使い道は 僕たち、私たち、 そして 未来の子どものために 盛岡市立上田中学校2年 赤井 崇太さん</p>
盛岡税務署 税務署長賞	<p>税金は みんなの暮らしを 守ってる 盛岡市立飯岡小学校6年 山田 圭汰さん</p>
盛岡間税会 女性部会長賞	<p>税金は みんなの生活 支える 盛岡市立飯岡小学校6年 藤澤 穂香さん</p>
盛岡間税会 青年部会長賞	<p>納税は 社会人としての 第一歩 一般：佐々木 ひろ子さん</p>

※小学生、中学生、一般の方から多数応募いただきありがとうございました。上記の入選作品は盛岡間税会経連会に対して進達しました。
【主催】 盛岡間税会 (全国間税会経連会)
【後援】 国税庁 (平成30年より)、一般財団法人大蔵財協 (平成15年) より